

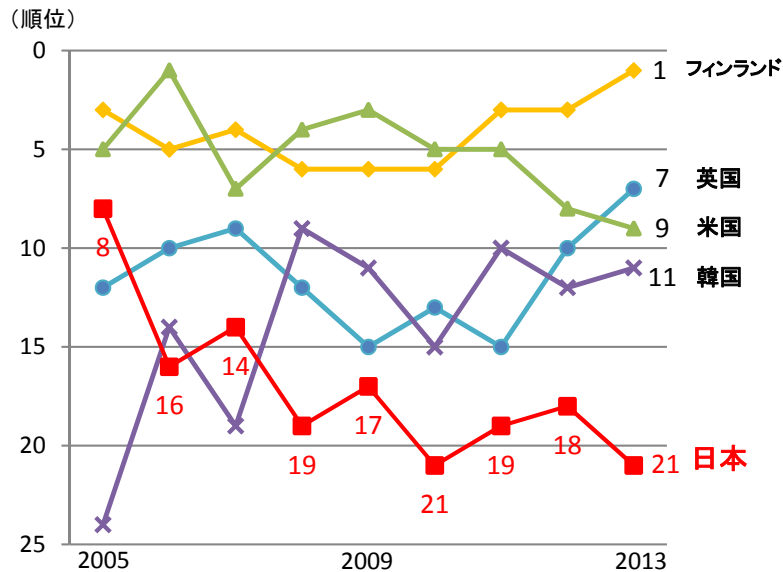
「ICT国際競争力強化・国際展開イニシアティブ」 (ICT国際競争力強化・国際展開に関する懇談会最終報告書)の概要①

1. 基本的考え方

- 持続的成長・発展に向けた「歴史的な分岐点」に立っているという危機感の共有
- 2020年に向けたビジョン：
 - (1) 「知識情報立国（スマート・ジャパン）宣言」
世界をリードする、リアルとバーチャルが融合した、「知識・情報」のフローとストックを戦略的に活用する社会の実現
 - (2) 戦略的視点と官民連携体制
 - ①何を戦うか(分野)、②どこで戦うか(市場)、③どこで戦うか(競争相手)を明確にした展開、強固な官民連携体制の構築
 これまでの製品単体の売り切りから、製品、サービス、オペレーションまでを含めた総合的な「システム」として海外展開
- ICTにより「三位一体」で解決(①地球的課題、②我が国の課題、③相手国の課題を一体的に解決)
- ICTを「パッケージ」で展開(インフラ、防災、医療、教育、資源、電子政府、金融、コンテンツ等をパッケージで展開)
- 新たな「アーキテクチャ」を創造(「安心・安全」、「おもてなし」をキーワードに)
- 国・地域別、分野別の戦略的な国際展開

[現状]

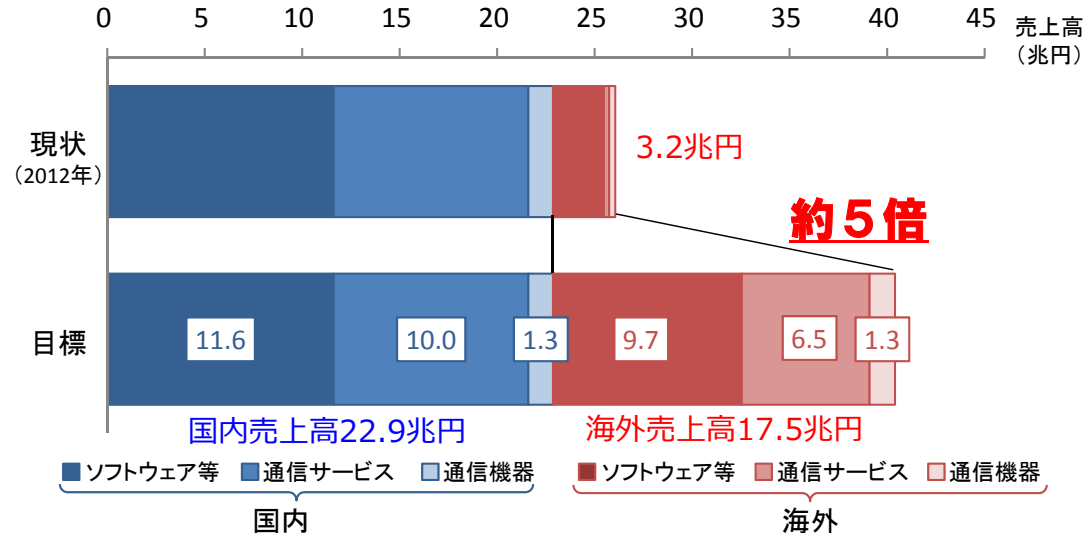
◆ 世界経済フォーラムによる ICT競争力ランキングの推移



[目標]

◆ ICTグローバル展開の強化

2020年までに、現在の海外売上高の約5倍の17.5兆円を目指す。



「ICT国際競争力強化・国際展開イニシアティブ」 (ICT国際競争力強化・国際展開に関する懇談会最終報告書)の概要②

2. ビジネス環境整備

- **日本発グローバル展開モデルの構築**
 - 「都市丸ごとICT化」、「G空間×ICT」、「防災×ICT」、「放送コンテンツ海外展開」、「スマート・プラチナ社会」、「教育×ICT」、「農業×ICT(スマートアグリ)」等を構築し、日本の優れた技術・ノウハウを展開
- **「ジャパンブランド」の確立**
 - 「ICT東京オリンピック・パラリンピック」の実現
 - 「最先端ICTショーケース」の戦略的整備(国内外)
 - ロゴマーク制定とプロジェクトプレート
- **ICTビジネス基盤の整備**
 - 海外ビジネス情報のデータベース整備
 - ベンチャー企業の育成

3. ICT人材育成・活用

- **日本人材の育成・活用**
 - ICTソフトウェア開発力の強化
 - 初等教育段階からの「プログラミング教育」の実施
- **外国人材の育成・活用**
 - インターンシップを仲介する仕組みを構築
 - MOOCs等を活用した人材の育成・確保
 - 留学生・研修生等との多層的な国際人材ネットワークを強化 等

4. 「技術外交」の強化・展開

- **技術外交戦略の推進**
 - 既存の技術・システム(地デジ、G空間等)と将来有望な技術(ウェアラブル、AI等)を峻別した国際展開
 - 技術開発によるイノベーション、出口戦略を重視した標準化戦略、仲間作り、標準化の推進体制・司令塔整備
 - 産官学の連携
- **国際的に調和した環境整備**
 - 情報の自由な流通、パーソナルデータの利用と保護のバランス確保
 - 情報セキュリティに関する国際連携推進
- **トップセールス連動型の展開や政府間対話の強化**
 - 政策ツールとしてのODA等の戦略的活用

5. 「官民オールジャパン体制」の構築

- 「官民ミッション」の派遣(トップセールス)
- 「官民ローカル・タスクフォース」の形成
- ICT国際競争力強化・国際展開に資する資金供給等の仕組みの整備

ICT国際競争力強化・国際展開イニシアティブの時間軸

「歴史的な分岐点」に立っているという危機感の共有

機動的で実効的な「官民連携体制」の構築

- ・「官民ミッション」の派遣(トップセールス)
- ・「官民ローカル・タスクフォース」の形成
- ・国際展開に資する資金供給等の仕組みの整備

「日本ブランド」の確立

- ・「ICTショーケース」の整備(国内/海外)
- ・ロゴマーク制定とプロジェクトプレート

人材育成・人脈構築

- ・初等教育段階からの「プログラミング教育」の実施
- ・外国人留学生等とのネットワーク強化

ICT国際競争力の強化

※ 国際貢献によるWin-Win関係の構築

[どこで]

- ASEAN、インドなど

[何を]

- 日本の強みを生かした成功モデルを作り、「パッケージ」で展開
(ICTインフラから端末、システム、制度・運用・コンサルまでをワンパッケージに)

1st ICTインフラ、セキュリティ

2nd 防災、コンテンツ、環境、エネルギー、治水・水道、交通、物流、金融・決済

3rd 相手国のICTインフラ整備を促し運用に関わることで、地域の問題を把握し、信頼を得て、日本が課題とするイノベーション分野を先行実施

スマートジャパン

日本にフィードバックし日本の高度化にもつなげる

